



“イメージワンマン” と “RC システム” で短工期を実現！

災害復旧工事の作業効率を驚くほど向上させた DS-200i+ 監督さん.V

株式会社大久保建設様は、三重県鈴鹿市に本社を置く地域の有力な建設業者である。同社は河川の災害復旧工事の効率化を図るべく、イメージングロボティックトータルステーション DS-200i とデータコレクタ用アプリケーション 監督さん.V を導入した。

同業者も心配するほどの短い工期に挑戦

同社取締役副社長の三浦隆巨様にシステム導入の背景から伺った。「今まで、逃げ杭の観測や杭の位置決めなどの測量作業は、マニュアルタイプのトータルステーションを使い、2名で行っていました。しかしながら、プリズムマンに不慣れた現場作業員を起用することも多いことや、周囲の騒音で指示が伝わらないこともあり、手間取ることが多くありました」。河川工事は濁水期にしか作業ができず、どうしても工期が限られてしまう。ことさら今回は、同業者からも心配されるほどの短期間。しかも、同時進行で搬入用の道路設置も必要であったため、作業の効率化なくては到底工期を守れない。



取締役副社長 三浦 隆巨 様

思案に暮れるなか、紹介されたものが DS-200i と監督さん.V によるワンマン測量システムであった。

ワンマン測量システム導入で守られた工期

「DS-200i と監督さん.V のワンマン測量システムのおかげで、工期が守れたと言っても過言ではありません」。導入効果について、三浦隆巨様は続ける。「測量作業に1人で集中できたので、今までの2倍以上のスピードで行うことができました。加えて、今までプリズムマンだった作業員を別の工程に就かせたことで、全体の作業効率は3倍にも4倍にもなりました。本当に導



現場代理人 三浦 弘晃 様

入して良かったです」。今回の現場代理人である三浦弘晃様は、「イメージワンマン」と「RCシステム」を上手く使い分けていたようだ。「イメージワンマン」は、視準をデータコレクタの画像で確認しながら作業できるので、観測しやすかったです。特に、今回は器械設置を全て後方交会で行ったのですが、「正しく視準しているか」が手元でわかることで、安心感がありま

した。また、長距離の観測では、追尾が外れても一発でプリズムを視準してくれる「RCシステム」が便利でした。状況に応じてワンマン観測の方式を使い分けることができるので、非常に使いやすく作業効率アップに役立ちました。

誰もがワンマン観測できる体制に

「今後、測量作業はワンマン観測をメインにします」。三浦隆巨様の力強い宣言とともに、今後の抱負をいただいた。「社内教育を徹底して、誰もがワンマン観測をできる体制にしていきます。また、3次元での位置出しや、TS出来形観測にも取り組み、業務の幅を広げていきたいですね」。



ユーザー名：株式会社大久保建設
使用機種：Imaging Robotic Total Station DS-200i
リモートコントロールシステム RC-5
データコレクタ用アプリケーション 監督さん.V

取材協力：有限会社トプラス
URL：http://www.toplus.jp